

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	2年生	期 別	通年	科目の実務経歴	有
授業科目名	鍼灸応用実習Ⅱ			担当教員	杉山慶介・餌取光輝		
授業の方法	実 技			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	鍼灸施術に関する基本的な技術と知識を習得し、安全かつ確実な施術を行なうことができる能力を身につける。施術者としての品位、道具の扱い、衛生管理について身につける。						
授業の到達目標	I.プロフェッショナリズム 1. 他者を思いやり尊重する態度 3. 自己の役割を誠実に果たす姿勢 4. 自己点検・自己評価および自己研鑽に努める態度 II.医学的知識 8. リスク管理 III.基本的臨床能力 5. はき施術を安全かつ適切に施す能力 IVコミュニケーション 1.身だしなみ・礼儀やマナー 2.聴く・観る・書く・伝える 3.患者に対するホスピタリティ・共感的態度 4.他者と良好な関係を構築できる能力						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(腰下肢部)		1	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(頸肩部)		
	2	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(腰下肢部)		2	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(頭顔面部)		
	3	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(腰下肢部)		3	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(頭顔面部)		
	4	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(膝部)		4	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(腹部)		
	5	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(膝部)		5	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(上肢)		
	6	中間試験/総合演習		6	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(下肢)		
	7	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(肩部)		7	中間試験/総合演習		
	8	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(肩部)		8	第2章 応用実習 1.特殊鍼法(灸頭鍼)		
	9	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(胸背部)		9	第1章 基礎実習 4.身体各所の施灸		
	10	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(胸背部)		10	第1章 基礎実習 4.身体各所の施灸		
	11	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(頸肩部)		11	第1章 基礎実習 身体各部の刺鍼と施灸		
	12	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼(頸肩部)		12	第1章 基礎実習 身体各部の刺鍼と施灸		
	13	期末試験/総合演習		13	期末試験/総合演習		
14	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼 総合演習 4.身体各部の施灸(透熱灸・知熱灸・棒灸)		14	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼 総合演習 4.身体各部の施灸(透熱灸・知熱灸・棒灸)			
15	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼 総合演習 4.身体各部の施灸(透熱灸・知熱灸・棒灸)		15	第1章 基礎実習 5.身体各部の刺鍼 総合演習 4.身体各部の施灸(透熱灸・知熱灸・棒灸)			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	中間試験、期末試験、平常点などで総合的に評価します。			実務経験	臨床経験2年 教員歴3年		
履修上の注意	この授業では人体に悪影響を及ぼす危険な部位への鍼や灸の技術を学んでいきますのでお互いに事故のないように教員の注意事項を必ず守って授業に臨んでください。			授業時間外の学習	技術の習得には反復練習しかありません。授業で学習した内容は翌週までに精度を高めるようにしてください。実技室開放を利用して下さい。		
使用教材	教科書:東洋療法学校協会編 はりきゅう実技(基礎編) 参考図書:医歯薬出版社 鍼灸医療安全ガイドライン 尾崎昭弘・坂本 歩編集			連絡先	質問や相談があるときは事務課を通して直接訪ねてください。		